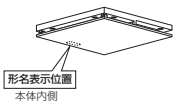
2302876HL3705

MITSUBISHI ELECTRIC

「ヘルスエアー機能」搭載 循環ファン

形 名

JC-10K グリル形式・色調 フラットインテリア・クールホワイト




# 取扱説明書(据付説明書付)

お客様

この製品の運転にはコントロールスイッチが必要です。コントロールスイッチの位置を確認してください。

**お客様自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません)**

- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.
- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書をよくお読みください。なお、ご使用の前に「1. 安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機修理窓口・ご相談窓口」は、大切に保存してください。
- 据付け後、試運転を行なう際、立ち会ってください。運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店から説明を受けてください。

■ 販売店・工事店様へ **据付説明書は裏面をご覧ください**

# 取扱説明書

## 1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの |
| ⚠注意 | 誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの |

| | | |
|---|---|---|
| 禁止 | 水ぬれ禁止 | 浴室での使用禁止 |
| 分解禁止 | 接触禁止 | 指示に従う |

### ⚠警告

| | |
|---|---|
| 禁止 | ●ガス漏れに気付いたときは、製品のスイッチの入・切をしない<br>爆発・引火の原因。 |
| | ●可燃性ガスを含むスプレー等を使用しない<br>火災の原因。 |
| 水ぬれ禁止 | ●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない<br>ショート・感電の原因。 |
| 分解禁止 | ●改造や工具を必要とする分解はしない<br>火災・感電・けがの原因。<br>分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。 |
| 指示に従う | ●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る<br>感電・けがの原因。 |
| | ●交流 100Vを使用する<br>火災・感電の原因。 |
| | ●異常・故障時には、直ちに使用を中止する<br>そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。<br>〈異常・故障例〉<br>●スイッチを入れても羽根が回転しない。<br>●回転中に異常音や振動がする。<br>●回転が遅いまたは不規則。<br>(モーターはメンテナンスが必要な部品です)<br>●こげ臭いにおいがする。<br>●本体据付部に腐食・破損などがある。<br>など<br>※ すぐに分電盤のブレーカーを切って、販売店へ点検修理を依頼してください。 |

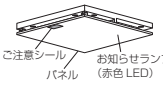
### ⚠注意

| | |
|---|---|
| 禁止 | ●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない<br>本体・部品の落下によりけがの原因。 |
| | ●直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用しない<br>火災・故障の原因。 |
| | ●室内くんじょうタイプ(発煙型)の殺虫剤を使うときは運転しない<br>製品内部に薬剤成分が蓄積し、その後運転した時に放出され、健康を害する原因。 |
| 浴室での使用禁止 | ●浴室など湿気の多い場所では使用しない<br>感電・故障の原因。 |
| 接触禁止 | ●運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない<br>けがの原因。 |
| 指示に従う | ●電気工事は必ず電気工事店に依頼する<br>感電の原因。 |
| | ●部品の据付けは確実に行う<br>落下によりけがの原因。 |
| | ●清掃は安定した台の上で作業する<br>転倒によりけがの原因。 |
| | ●お手入れの際は保護具(ゴーグルや手袋など)を着用する<br>着用しないとけがの原因。 |
| | ●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る<br>絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因。 |

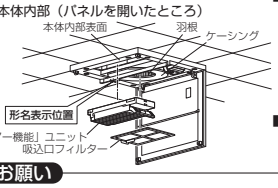
■ 特長 「ヘルスエアー機能」および脱臭フィルターでお部屋の空気を循環清浄します。
在室時は連続運転でご使用頂くことで効果的に清浄可能です。
◆「ヘルスエアー機能」搭載：電界・放電空間を形成し、空気中に浮遊するさまざまな物質を抑制する機能
◆脱臭効果：一過性効率 80%以上(汗臭・排泄臭)、50%程度(体臭・消毒臭・タバコ臭)の脱臭フィルターを搭載

## 2.各部のなまえ

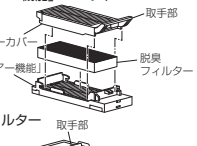
■本体外観




■本体内部(パネルを開いたところ)




■「ヘルスエアー機能」ユニット




■吸気口フィルター

### ご使用にあたってのお願い

- スプレー(殺虫剤・整髪用・掃除用など)をかけないでください。(グリル・羽根の破損、変質の原因)
- 高温(40℃以上)になるところに据付けられていないか確認してください。(製品の変形やモーター焼損の原因)
- 製品設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。(中性洗剤をご使用ください)
  シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など(異常音の発生、変質、変色、塗装はがれや故障の原因)

## 3.使用方法

運転は壁の専用コントロールスイッチ(P-04SWJ、P-04SWR2)で運転開始と停止、風量切替え(強と弱)を行います。

## 4.お手入れのしかた

- パネル・吸込口フィルターにほこりが付着しますと、風量低下や異常音発生の原因となります。
  約 3 か月に 1 度を目安として、パネル・吸込口フィルターを清掃してください。
- 「ヘルスエアー機能」ユニットにほこりが付着しますと、性能低下の原因となります。
  約 6 か月に 1 度を目安として、「ヘルスエアー機能」ユニットと脱臭フィルターを清掃してください。
- 使用環境により清掃時期が早くなる場合があります。

### ⚠警告

| | |
|---|---|
| 指示に従う | ●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る<br>感電・けがの原因。 |

### ⚠注意

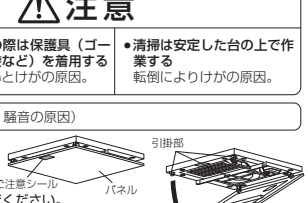
| | |
|---|---|
| 指示に従う | ●お手入れの際は保護具(ゴーグルや手袋など)を着用する<br>着用しないとけがの原因。 |
| | ●清掃は安定した台の上で作業する<br>転倒によりけがの原因。 |

お願い ●ケーシングや羽根は、はずさないでください。(振動・騒音の原因)

### 1 パネルに指を引っ掛けて開く

- パネルはパネル引掛部 3 か所で固定されています。
- シール貼付側を開いてください。

お願い
- パネルを開けるときは、パネルから手を離さないでください。
  (勢いよくパネルが開く場合があります)
- パネルが開いた状態から、さらに無理に開かないでください。
  (パネルが破損します)
- パネルを開けるときに、パネルに付着しているほこりなどが落ちてくる場合がありますのでご注意ください。

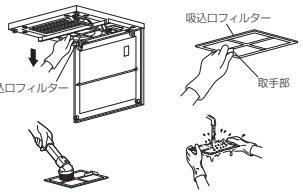



### 4.お手入れのしかた つづき

### 2 吸込口フィルターの清掃

ブラシノズルを取付けた掃除機で、吸込口フィルターのほこりを吸い取る

- 汚れがひどい場合は、以下の手順で吸込口フィルターを取りはずして水洗いしてください。
  ① 吸込口フィルターの取手部をつまみ、内側に押しながら下にずらして、本体から取りはずします。
  ② 汚れを水またはぬるま湯で洗い流します。

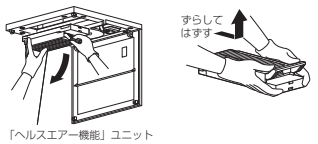



### 3 「ヘルスエアー機能」ユニットの清掃

①「ヘルスエアー機能」ユニットの取手部に指を引っ掛け、本体内部から引き抜きます。

お願い ●必ず両手を添えて引き抜いてください。
(「ヘルスエアー機能」ユニットが落下するおそれがあります)

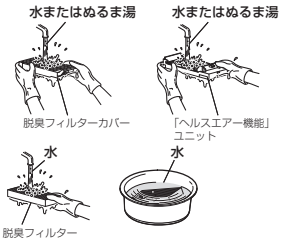
② 脱臭フィルターカバーをずらして取りはずし、中から脱臭フィルターを取り出します。




■「ヘルスエアー機能」ユニット・脱臭フィルターカバー

③「ヘルスエアー機能」ユニットと脱臭フィルターカバーは、汚れを水またはぬるま湯で洗い流します。
④ 乾いた布で表面の水滴を拭き取り、陰干しで充分に乾燥させます。

お願い ●「ヘルスエアー機能」ユニット内部に綿棒やブラシなどを差し込まないでください。
(ユニット内部の電極ワイヤーを切る原因となります)
- 電極ワイヤーが切れてしまったときは交換が必要です。販売店または工事店へ連絡してください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤に浸け置きしてください。その後、充分に水で洗い流してください。

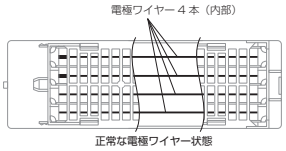



■ 脱臭フィルター

⑤「ヘルスエアー機能」ユニットから取り出した脱臭フィルターは、汚れを水で洗い流したあと、さらに約 30 分間、水に浸けます。
(時間は目安です。汚れの程度により調整してください)

お願い ●水以外(お湯や洗剤)は絶対に使用しないでください。
(脱臭性能が低下する原因となります)
- 脱臭フィルターは、ブラシや高圧洗浄機などで洗わないでください。
  (脱臭性能が低下する原因となります)
- 脱臭フィルターは落下などにより破損するおそれがありますので、取扱いにはご注意ください。

⑥ 陰干しで充分に乾燥させます。
⑦ 清掃した脱臭フィルターを「ヘルスエアー機能」ユニットに取付け、脱臭フィルターカバーを取付けます。
(電極ワイヤーが切れていないこと、たるんでいないことを確認してください)
⑧ 元通り本体内部に据付けます。



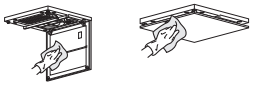

お願い ●「ヘルスエアー機能」ユニット・脱臭フィルターカバー・脱臭フィルターは、陰干しで充分に乾燥させてください。
(故障や脱臭フィルターのにおい発生の原因になります)
- ドライヤーなどの温風で乾かさないでください。
  (部品の変形や破損の原因になります)

**清掃で脱臭性能が回復しない場合**

- 脱臭フィルターの交換が必要です。
  別売の「「ヘルスエアー機能」搭載循環ファン専用交換用脱臭フィルター(P-10KDF)」をお買い求めの上、交換してください。
  (脱臭フィルターの交換目安は 10年です)

### 4 パネルと本体内部の清掃

① パネル、本体内部表面の汚れは、台所用中性洗剤に浸した布をかたく絞ってふき取ります。
- 汚れをふき取ったあとは、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。



### 5 パネルを閉じる

① パネルのツメを本体枠のパネル引掛部に引っ掛けます。

お願い ●ツメ 3 か所が確実に引っ掛かっているか、確認してください。

## 5.修理を依頼される前に

- 次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

| こんなとき | 原 因 | 点検・処置 |
|---|---|---|
| スイッチを入れても羽根が回転しない | 分電盤のブレーカーが切れていませんか | 「入」にします |
| 運転中に異常音や振動がする | 本体・パネル・「ヘルスエアー機能」ユニットが確実に据付けられていますか | 据付け直します |
| | パネル・吸込口フィルター・「ヘルスエアー機能」ユニットにほこり・異物が付着していませんか | 清掃します<br>「4. お手入れのしかた」を参照してください。 |
| お知らせランプが点滅している | 加湿器や湯気を発生するものが近くにありませんか？ | 遠ざけてください |
| | 「ヘルスエアー機能」ユニットにほこり・異物が付着している可能性があります(目に見えないような微小粒子が付着している場合もあります) | 清掃します<br>「4. お手入れのしかた」を参照してください。 |
| 焦げ臭いにおいがする | 故障です運転を停止してください | 販売店または工事店へ連絡します |
| 「ヘルスエアー機能」ユニットから異臭がする | 「ヘルスエアー機能」ユニット内部の脱臭フィルターににおい成分が付着しています | 清掃します<br>「4. お手入れのしかた」を参照してください。 |
| においが取れない | 脱臭フィルターが漏れていませんか | 乾燥させます |
| 「ヘルスエアー機能」ユニットの金属板に模様がついている | 放電による表面変化のため問題はありません | 異常ではありません<br>そのままご使用いただけます |

## 6.アフターサービス

■ ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機　ご相談窓口・修理窓口」( 別紙 )にご相談ください。
※ 別紙チラシが不明な方は下記窓口へお問合せください。

■ ご相談窓口
- 平日　9：00～12：00　13：00～17：00 (土・日・祝・弊社休日以外)
  三菱電機機興気送風機技術相談センター　電話：0120-726-471 (無料)

※ 電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

■ 補修用性能部品の保有期間
当社は、この循環ファンの補修用性能部品を製造打切り後 6 年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
長年ご使用いただくためには製品のメンテナンスが必要です。
モーターは消耗部品です。

## 7.仕 様

電圧 100V

| 形 名 | | 消費電力(W) | | 風 量(m³/h) | | 騒 音(dB) | | 質 量 (kg) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 設定 | 50Hz | 60Hz | 50Hz | 60Hz | 50Hz | 60Hz | |
| JC-10K | 強 | 12 | 12.8 | 40 | 40 | 36.5 | 36.5 | 2.1 |
| | 弱 | 6.9 | 7 | 20 | 20 | 21 | 21 | |

※騒音値は無響室での測定値です。実際付状態では反響音などを含むためこれより高くなります。

**愛情点検** ☆ 長年ご使用の循環ファンの点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。
  (モーターはメンテナンスが必要な部品です)
- こげ臭いにおいがする。
- 本体据付部に腐食、破損などがある。

▶ 使用中止 故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。
点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

| お客さまメモ | | |
|---|---|---|
| サービスを依頼されるとき便利です。 | 形 名 | |
| | お買上げ年月日 | 年 月 日 |
| | お買上げ店名<br>(住 所)<br>(電話番号) | ( ) |

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
材質名は主材料に ISO 規定の略号を使用。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒 508－8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

# 据付説明書

販売店・工事店様

**本冊子は据付け後、必ずお客様へお渡しください。**

■ この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。据付けの前に、この据付説明書を必ずお読みください。
■ 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
■ 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
■ この製品は、居間・事務所・店舗等の建物内の天井または壁面に据付けてください。それ以外の場所には使用しないでください。(故障の原因となります)
■ この製品にはシステム部材の専用コントロールスイッチ（P-04SWJ（1 ～ 2 台接続の場合)、P-04SWR$_2$（3 ～ 10 台接続の場合））が必要です。三菱換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。
■ 専用コントロールスイッチ以外をご使用の場合は組合せ上、不具合が発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
■ 専用コントロールスイッチの LED ランプの明るさは、強・弱、接続台数によって異なります。

## 1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの |
| ⚠注意 | 誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 禁止 | 分解禁止 | 水ぬれ禁止 | 指示に従う | 浴室での使用禁止 | |

### ⚠警告

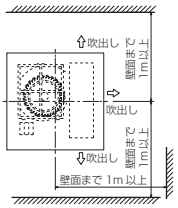
| | |
|---|---|
| 禁止 | ●ガス漏れに気付いたときは、製品のスイッチの入･切をしない<br>爆発・引火の原因。 |
| 禁止 | ●可燃性ガスを含むスプレー等を使用しない<br>火災の原因。 |
| 水ぬれ禁止 | ●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない<br>ショート・感電の原因。 |
| 分解禁止 | ●改造や工具を必要とする分解はしない<br>火災・感電・けがの原因。<br>分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。 |
| 指示に従う | ●交流 100Vを使用する<br>火災・感電の原因。 |

### ⚠注意

| | |
|---|---|
| 禁止 | ●直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない。<br>火災・故障の原因。 |
| 浴室での使用禁止 | ●浴室など湿気の多い場所には据付けない。<br>感電・故障の原因。 |
| 指示に従う | ●電気工事は必ず電気工事店に依頼する<br>感電の原因。 |
| | ●部品の据付けは確実に行う<br>落下によりけがの原因。 |
| | ●据付けには付属の木ネジを使用する<br>落下によりけがの原因。 |
| | ●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う<br>落下によりけがの原因。 |
| | ●据付けの際は必ず手袋を着用する<br>けがの原因。 |
| | ●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う<br>接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。 |

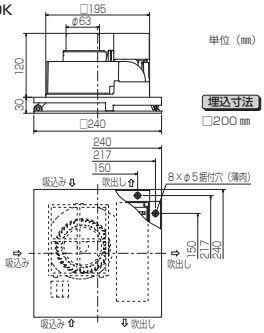
## 2.据付け前のお願い

- 高温(40℃以上)になるところには据付けないでください。早期故障の原因となります。
- 屋外に面した壁に据付けないでください。
- 喫煙室など、常にタバコなどの煙が充満する場所には据付けないでください。脱臭フィルターのメンテナンス時期が著しく短くなります。
- 常ににおいが発生し続けるところでは、期待する脱臭効果が得られない場合があります。また、脱臭フィルターのメンテナンス時期が短くなります。
- 温泉や硫黄などの腐食性成分を含む場所には据付けないでください。早期故障の原因となります。
- 火災報知器から吹出口まで 1.5m 以上離して据付けてください。(消防法基準省令)
- 本体設置位置は壁面から本体中心まで 1m 以上離してください。
- 天井板は、振動や共鳴音防止のため、強度のあるものをご使用ください。
- 製品上部を断熱材などで覆う場合 ( ブローイング工法含む ) は、製品を BOX などで保護した後に実施してください。
- 加湿器や湯気、水蒸気が発生する機器の近くには据付けないでください。

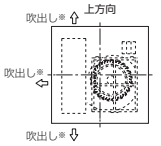



## 3.外形寸法図

■ JC-10K




■ 壁・傾斜天井据付け時の方向




※吹出しから火災報知器まで 1.5m 以上のスペースを確保

**付属部品**

木ネジ……4本

天井材クリップ…4個

## 4.据付方法

■ この製品の据付けは「天井材クリップを使用する場合」と「野縁を使用する場合」があります。
取付方法を確認の上、工事を行ってください。

＜施工のながれ＞

1 据付け前の注意 → 2 天井工事 → 3 据付け前の準備 → 4 天井材クリップの据付け（「天井材クリップを使用して本体を固定する場合」） → 5 電気工事 → 6 本体の据付け → 試運転

### 天井材クリップを使用して本体を固定する場合

#### 1 据付け前の注意

■ 天井材は板厚が 9～12 mmのものを使用してください。
■ 天井材の強度は板厚が 9 mm以上の石膏ボード相当以上のものを使用してください。

⚠注意
- **本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う**
  落下によりけがの原因。

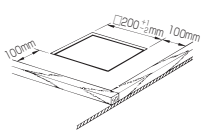
#### 2 天井工事

⚠注意
- **据付けの際は必ず手袋を着用する**
  けがの原因。

**天井を張り、天井材に埋込穴をあける**

- 天井材は野縁などにしっかりと固定してください。
- 埋込穴は右図に示す寸法にてあけてください。
- 天井材の目地に対して傾きのないようにあけてください。

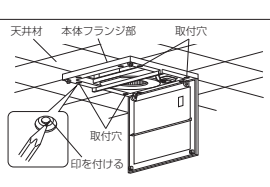
お願い
- 天井材を加工する際には保護具（メガネ・マスク）を着用してください。




#### 3 据付け前の準備

**本体を埋込穴（角穴）に差し込み、本体フランジ部にある取付穴（4 か所）の中央部に鉛筆等で天井材に印を付ける**

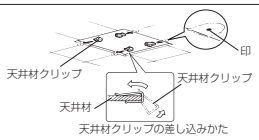
- 印を付ける際は、平行となる辺の取付穴を使用してください。
- 取付穴はすき間防止のため、薄肉がついていますので、事前にネジ先端で薄肉部を突き破ってください。




### 4 天井材クリップの据付け

**天井材クリップ（付属部品）を 3 で天井材に付けた印に合わせ 4 個差し込み据付ける**

- 天井材クリップを据付ける際には、“室内”の刻印文字が室内側となるように据付けてください。
- 天井材クリップは図のように差し込んでください。




### 5 電気工事

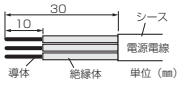
■ 電源電線の接続・電気工事などは、必ず専門の工事店へご依頼ください。
■ アース工事を行ってください。
アース線をモーター横のアース用ネジに固定して、必ず D 種接地工事を行ってください。
ガス管・水道管・避雷針などへは絶対に取付けないでください。

⚠警告
- **交流 100Vを使用する**
  火災・感電の原因。

⚠注意
- **電気工事は必ず電気工事店に依頼する**
  感電の原因。
- **電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う**
  接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

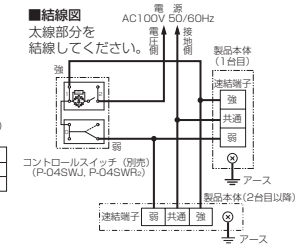
**1.電源電線の被ふく（本体接続側）**

① 電源電線の先端を下図に合わせて皮むきをしてください。
- 端子部への水の浸入・ほこりの侵入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。
- 電源電線は VVF φ 1.6 または φ 2.0 の 3 芯を使用してください。



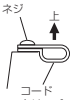

| コントロールスイッチ | 接続台数 |
|---|---|
| P-04SWJ | 1～2 台 |
| P-04SWR$_2$ | 3～10 台 |

■結線図
太線部分を結線してください。

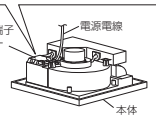



**2.電源電線の結線**

① 速結端子カバーを右図のように開ける。
② 電源電線を速結端子に差し込む。
③ 速結端子カバーを元通り閉じ確実に固定する。
④ 電源電線をコードクリップで固定する。
- コードクリップは右図を参照して、正しい向きで取付けてください。
- 速結端子カバーが確実に閉まっていることを確認してください。



お願い
- 電源電線は、結線作業ができるように十分な長さを用意してください。
- 電源電線は確実に速結端子に差し込みます。
速結端子より導体が出ないようにしてください。
- 電源電線を軽く引いて速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源電線をかみ込まないように本体面に密着させて配線してください。
- 電源電線を速結端子よりはずす場合は、ボタン部（白色）を押しながら電源電線を引き抜いてください。

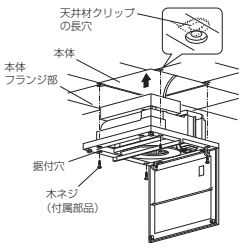



### 6 本体の据付け

**1.本体を埋込穴にはめ込む**
- 天井材クリップの長穴が、本体フランジ部の据付穴から見えることを確認してください。見えない場合は、天井材クリップの位置を調節してください。

**2. 付属の木ネジ4本で天井材クリップ（または野縁）に本体をすき間のないようしっかり固定する**

お願い
- 木ネジは天井材クリップの長穴を通して固定してください。
（天井材クリップ使用時）
- 取付穴はすき間防止のために薄肉がついていますので、ネジ締付けの際、ネジ先端で薄肉部を突き破ってください。（野縁使用時）
- 据付けの際に、羽根を持つなど、羽根に力を加えないでください。
- 据付穴以外の箇所を木ネジで固定しないでください。




### 野縁を使用して本体を固定する場合

#### 1 据付け前の注意

**野縁を設置する**

① 高さ 40 mm程度の天井野縁や補助野縁を用いて 2 本の平行な据付枠を内寸 200 mmで設けてください。
② 天井材に□200 mmの埋込穴をあけ、据付枠を据付けてください。

**天井材クリップを使用して本体を固定する場合** の **5 電気工事** 以降と同じ手順で据付ける

## 5.据付け後の確認

■ 据付け後、下表に従ってもう一度点検してください。

| チェック項目 | 不具合時の対策 | チェック |
|---|---|---|
| 「2. 据付け前のお願い」に従った据付けができていますか？ | お願い事項に従った据付け状態にする | |
| 本体の据付け強度は十分ですか？ | 補強する | |
| 本体が確実に据付けられていますか？ | 本体据付用木ネジを締め直す | |
| 壁・傾斜天井据付けの場合、本体の据付け方向は正しいですか？<br>据付け方向は「3. 外形寸法図 ■壁・傾斜天井据付け時の方向」に記載 | 正しい方向に据付け直す | |
| 電圧は 100V ですか？ | 100V に直す | |
| 結線は正しいですか？ | 結線図に従った結線に直す | |

## 6.試運転

■ 据付け後、試運転を行って正常に運転することを確認してください。
- 専用のコントロールスイッチで、入／切、強／弱の切替えが正しくできるか確認してください。
- 異常な音や振動がないか確認してください。

■ 試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

| こんなとき | 原因 | 点検・処置 |
|---|---|---|
| 電源スイッチを入れても羽根が回転しない、強弱が正しく運転できない | 分電盤のブレーカーが「切」になっている | ブレーカーを「入」にする |
| | 正しく結線されていない | 結線を確認する（4. 5 電気工事参照）<br>※製品に AC100V が供給されていることを確認する。 |
| | 羽根がケーシングに接触している | 羽根を押し込む |
| 運転中に異常音や振動がする | 本体・パネルが確実に据付けられていない | 据付け直す |
| | パネルに異物が付着している | 異物を取り除く |
| | 羽根がケーシングに接触している | 羽根を押し込む |

## 7.お客様への説明

■ 使用者立会いのもとで試運転と表面の「取扱説明書」に従って、正しい使い方をご説明ください。
とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
■ この据付説明書は、据付け後お客様にお渡しください。
■ お客様が不在の場合は、発注者（オーナーなど）または、管理人様へ説明してください。